

CA15-3 Reag

056413/07-2601

体外診断用医薬品

癌抗原15-3キット

ビトロス® CA15-3

承認番号：21200AMY00123000

** 2026年 1 月改訂 (第8版)

* 2020年12月改訂 (第7版)

【全般的な注意】

- ・本製品は、体外診断用医薬品であり、指定された目的以外には使用しないで下さい。
- ・診断は他の関連する検査結果や臨床症状に基づいて総合的に行って下さい。
- ・本電子添文に記載された以外の使用方法については保証を致しません。
- ・全てのヒト由来の物質には感染の危険性があります。現在のところHBV、HCV、HIV及び他の感染症関連検査で感染性を完全に否定できる検査法はありませんので、感染の危険性があるものとして取り扱って下さい。
- ・使用する機器及び試薬の電子添文又は取扱説明書をよく読んでから使用して下さい。
- ・構成試薬（発光試薬A*）は、アジ化ナトリウム（0.01%）及び四ホウ酸ナトリウム（1.4%）を含み、構成試薬（発光試薬B*）は、アジ化ナトリウム（0.005%）を含むので、誤って目や口に入ったり、皮膚に付着した場合には水で十分に洗い流す等の応急処置を行い、必要があれば医師の手当て等を受けて下さい。また、アジ化ナトリウムは、金属アジ化物を形成するので、廃棄に際しては十分な水で洗い流して下さい。
- ・本製品にはProClin300が含まれています。アレルギー反応や過敏反応を引き起こす可能性がありますので、実験衣、手袋、安全メガネ等を着用し、皮膚や目に付着しないよう注意して下さい。
*；専用の別売品

【形状・構造等（キットの構成）】

- 1) 試薬パック
 - (1) リガンドウェル
ストレプトアビジン
 - (2) コンジュゲート
ホースラディッシュペルオキシダーゼ標識抗CA15-3
マウスモノクローナル抗体
 - (3) アッセイ試薬
ビオチン化抗CA15-3マウスモノクローナル抗体
- 2) ビトロス発光試薬 A, B（専用の別売品）
 - (1) ビトロス発光試薬 A
3-アミノフタルヒドラジンナトリウム
 - (2) ビトロス発光試薬 B

【使用目的】

血清又は血漿中のCA15-3の測定

【測定項目について】

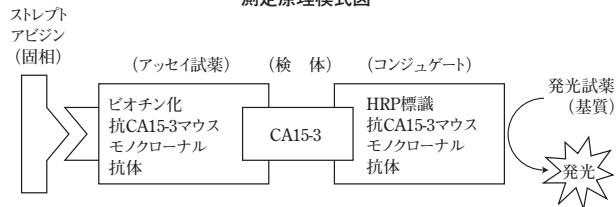
乳癌は、女性において最も一般的な悪性腫瘍であり、女性の約9人に1人が乳癌を発現し、このうち約30%が死に至るとされています。転移癌は最初の診断時点で検出された場合、初期段階で治療できます。転移癌を伴う患者の70%までが抗癌剤又はホルモン療法での系統的治療で良い結果を示します¹⁾。それ故に、早期に再発を検出することは、患者の管理に重要です。再発後の平均生存年数は約2年であるが、個々人の生存年数は数ヶ月から数十年の範囲に渡ります^{2), 3)}。

【測定原理】

ビトロス CA15-3は血清又は血漿中のCA15-3量を酵素活性の測定に化学発光を応用したEIA法（エンハンスドケミルミネセンスエンザイムイムノアッセイ：CLEIA）により直接測定するキットです。CLEIAはペルオキシダーゼを触媒としてルミノールを酸化させ、同時に電子伝達物質（置換されたアセトアニリド）の使用により発光量及び発光時間を増大させます⁴⁾。本製品は、臨床化学自動分析装置用の試薬です。ビトロス CA15-3は、イムノメトリックアッセイの原理に基づくキットです。本製品は、第一反応としてアッセイ試薬中のビオチン化抗CA15-3マウスモノクローナル抗体と検体中のCA15-3を反応させ、さらにリガンドウェル上に固相化されているストレプトアビジンに反応させます。未反応の物質を洗浄試薬*で洗い流した後、第二反応としてコンジュゲート中のホースラディッシュペルオキシダーゼ（HRP）標識抗CA15-3マウスモノクローナル抗体を第一反応の結合物と反応させ、ストレプトアビジン-ビオチン化抗CA15-3マウスモノクローナル抗体-CA15-3-HRP標識抗CA15-3マウスモノクローナル抗体を形成させる2ステップサンドイッチ法です。非結合物質は、洗浄試薬*により洗い流します。これに基質（発光試薬*）を加え発光させ、その発光量を臨床化学自動分析装

置で読み取ります。検体中のCA15-3量は、発光量（ウェル中に結合した酵素（HRP）量）に比例します。検体中のCA15-3濃度は、CA15-3既知濃度のキャリブレーター*により補正した標準曲線より求めます。

測定原理模式図



【操作上の注意】

- 1) 測定試料の性質、採取法
血清又は血漿（ヘパリン又はEDTA）を用いて下さい。10 μ Lを得るのに必要な血液を採取し、血清又は血漿を分離して下さい⁵⁾。分離した検体は、2～8℃で7日間、-20℃で4週間保存可能です。凍結・融解の繰り返しは避けて下さい。
 - 2) 妨害物質・妨害薬剤
・溶血検体、黄疸検体、高脂血検体及び混濁した検体は、使用しないで下さい。
・血清又は血漿中のヘテロフィリック抗体は、全ての抗原・抗体反応に干渉する恐れがあります⁶⁾。この抗体は、動物又は動物由来製品を取り扱うヒトの血液中に存在する可能性があります。臨床症状に見合わない測定値が得られた場合は、追加試験で確認して下さい。
- * ビトロスCA15-3はCLSI文書EP7に従って干渉に対する評価が行われています。^{7) 8)} 複数のロットにわたり一般的な化合物について評価を行った結果、健康人の母集団で観察された濃度⁹⁾よりも高いビオチン濃度においては、以下の誤差を生じました。

妨害物質	妨害物質の濃度		検体濃度* U/mL	誤差** U/mL
ビオチン	125ng/mL	512nmol/L	26.4	-2.83
			62.8	-7.25
	300ng/mL	1228nmol/L	26.4	-12.46
			62.8	-29.39

* 3機台、3ロットの試薬を使用し測定した平均値

** 平均誤差

これらの結果は代表的なものであり、表に示した以外の濃度における妨害物質の影響を予測することはできません。他の妨害物質が存在する可能性があります。

1日あたり最大300mcg (μ g) のビオチンを含むマルチビタミンを摂取した患者においては、検体中のビオチンが干渉することはないと考えられています。^{11) 12)} 高濃度のサプリメントを摂取している患者またはビオチンによる治療を受けている患者においては、検体中のビオチンが干渉する可能性があります。¹³⁾

* 干渉物質

ビトロスCA15-3はCLSI文書EP7⁷⁾に従って干渉に対する評価が行われています。DF3認識抗原濃度で16.9～35U/mLの検体で行った検査では、検査対象化合物の中には10%を超える誤差を引き起こすものではありませんでした。

化合物	濃度	
アセトアミノフェン	1323 μ mol/L	200 μ g/mL
アセチルサリチル酸	2.78mmol/L	50mg/dL
アスコルビン酸	0.17mmol/L	3mg/dL
ビリルビン	0.342mmol/L	20mg/dL
シクロホスファミド	0.32mmol/L	8.38mg/dL
ドキシソリン	1.30 μ mol/L	75 μ g/dL
5-フルオロウラシル	0.75mmol/L	9.76mg/dL
ヘモグロビン*	0.31mmol/L	500mg/dL
イブプロフェン	1.94mmol/L	40mg/dL
ロイコボリン	0.29mmol/L	15mg/dL
メトトレキサート	22 μ mol/L	1mg/dL
マイトマイシン	8.97 μ mol/L	300 μ g/dL
ナベルピン	9nmol/L	1.0 μ g/dL
ノバントロン	2.9 μ mol/L	150 μ g/dL

化合物	濃度	
バクリタキセル	13 μ mol/L	1.1mg/dL
タモキシフェン	13 μ mol/L	750 μ g/dL
チオプレックス	7.93 μ mol/L	150 μ g/dL
トリオレイン	22.6mmol/L	2000mg/dL
ビンブラスチン	13nmol/L	1.2 μ g/dL

* ビトロスCA153で濃度が36.6～66.5U/mLを示す一連の検体に溶血血液を添加した。

3) その他

- 検体、キャリブレーター1～3*、コントロール血清は、使用前によく混和し、15～30℃に戻してから使用して下さい。
- 測定結果が本製品の測定範囲上限（500U/mL）を超えた検体については、「ビトロス希釈血清試薬パックB*」又は「ビトロス希釈血清B*」で検体を希釈して、再度測定をし、測定結果に希釈倍率を乗じて検体本来の値を求めることが可能です。
- 破損している又は封入が不完全など、目視により損傷が認められる試薬は使用しないで下さい。

【用法・用量（操作方法）】

1) 試薬の調製方法

- 試薬パックは、調製済みです。開封後は、凍結を避け2～8℃で8週間保存可能です。（但し、使用期限内）開封した試薬パックは、システム上か、密封した試薬パック保存箱に乾燥剤を入れて、2～8℃に保存して下さい。
- 発光試薬A,B*は調製済みです。使用可能量はアッセイのワークフローによって異なり、1セットで最大210ウェルの使用が可能です。
- 発光試薬A,B*は臨床化学自動分析装置にローディング後、7日間使用可能です。

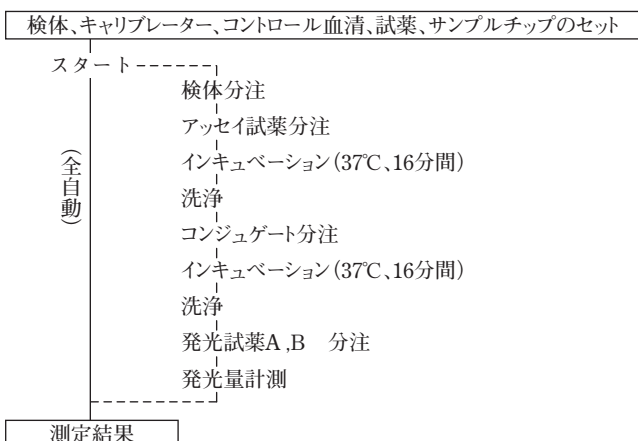
2) 必要な器具・器材・試料等

- 臨床化学自動分析装置
- ピペット及びピペットチップ
- コントロール血清：本キットの精度管理用として弊社より供給されているコントロール血清：腫瘍マーカーコントロール（別売）を使用することをお勧めします。
- ビトロス希釈血清試薬パックB*、又はビトロス希釈血清B*
- ビトロスCA153キャリブレーター1～3*
- ビトロス洗浄試薬*

3) 測定（操作）法

- 臨床化学自動分析装置を使用します。
- このキットによる測定に必要な関連試薬を準備して下さい。
- 検体及びキャリブレーター*、コントロール血清の最少必要量は、使用する容器によって異なります。詳細については使用される測定装置の取扱説明書を参照して下さい。
- 測定に先立ってキャリブレーションを実施して下さい。
- ロット変更時及び28日間ごとには、必ずキャリブレーションして下さい。
- 臨床化学自動分析装置操作の詳細については、使用される装置の取扱説明書を参照して下さい。
- 準備事項を確認後、スタートボタンを押すと臨床化学自動分析装置内で測定が開始され、全自動で測定結果が得られます。

測定概略



【測定結果の判定法】

参考基準範囲：35U/mL以下

種々の要因により変動するので、あらかじめ各施設で設定することをお勧めします。

【性能】

1) 性能

(1) 感度

- 社内参照キャリブレーターを測定するとき、CA15-3濃度2 U/mLとCA15-3濃度0 U/mLの光度の差は、CA15-3濃度2 U/mLの光度を1とすると、0.5～1.0の範囲内にあります。
- 社内参照キャリブレーターを測定するとき、CA15-3濃度54 U/mLとCA15-3濃度46 U/mLの光度の差は、CA15-3濃度54 U/mLの光度を1とすると、0.1～0.5の範囲内にあります。

(2) 正確性

既知濃度の管理用血清を測定するとき、既知濃度の±19%以内にあります。

(3) 同時再現性

同一検体を4回以上同時に測定するとき、測定値のCV値は、10%以下です。

(4) 測定範囲

測定範囲は、0.7～500 U/mLです。

2) 社内試験成績

(1) 感度

0濃度の検体を用いて20重測定を行い、結果の平均値+2SDを求めたところ、最小検出感度は、0.5U/mLでした。

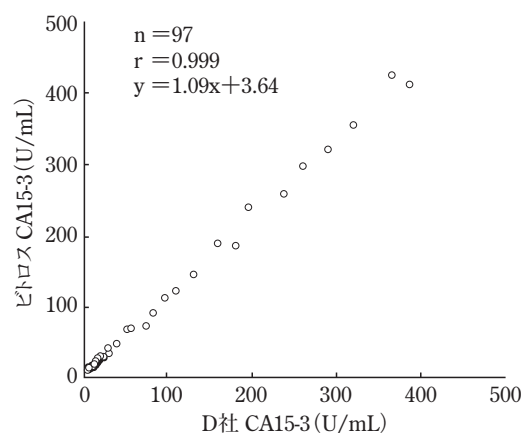
(2) 同時再現性、等

3水準のコントロール血清の各々2重測定を20日間行った結果は、以下のとおりでした¹⁰⁾。

平均値 (U/mL)	同日内再現性		キャリブレーション内再現性		ラボ内再現性	
	SD	CV(%)	SD	CV(%)	SD	CV(%)
33.8	0.855	2.6	2.18	6.5	2.43	7.1
129	2.62	2.1	5.82	4.6	5.53	4.3
212	4.22	2.0	10.3	4.9	10.1	4.7

(3) 相関性

ビトロス CA15-3と同測定法を採用している他社製品との間の相関性は、97例（血清検体）について測定を行ったところ、相関係数 $r=0.999$ 、回帰式 $y=1.09x+3.64$ (U/mL) と良好な相関が得られました。



【使用上又は取扱い上の注意】

1) 取扱い上（危険防止）の注意

- 全てのヒト由来の物質には感染の危険性があります。現在のところHBV、HCV、HIV及び他の感染症関連検査で感染性を完全に否定できる検査法はありませんので、感染の危険性があるものとして取り扱って下さい。
- 構成試薬（発光試薬A*）は、アジ化ナトリウム（0.01%）及び四ホウ酸ナトリウム（1.4%）を含み、構成試薬（発光試薬B*）は、アジ化ナトリウム（0.005%）を含むので、誤って目や口に入ったり、皮膚に付着した場合には水で十分に洗い流す等の応急処置を行い、必要があれば医師の手当て等を受けて下さい。
- 本製品にはProClin300が含まれています。アレルギー反応や過敏反応を引き起こす可能性がありますので、実験衣、手袋、安全メガネ等を着用し、皮膚や目に付着しないよう注意して下さい。
- 身体汚染防止のため、作業室内では、ゴム手袋、専用の実験衣、安全メガネを着用して下さい。
- 作業室内では、飲食・喫煙はしないで下さい。又ピペットを口で吸わないで下さい。

2) 使用上の注意

- 使用期限を過ぎた試薬類は使用しないで下さい。
- 作業室内全体の十分な換気をお勧めします。
- 試薬パック中の試薬が泡立っていると、キャリブレーションが実行できなかったり誤った結果を示す恐れがあるので、試薬パックには、転倒、落下、振動等の衝撃を与えないように取り扱って下さい。もし、転倒、落下してしまった場合、コントロール血清で確認してから使用して下さい。
- 試薬パックとキャリブレーター*は同一ロットを使用して下さい。
- 開封後の試薬パックは、2～8℃に保存して下さい。8℃以上に放置する時間は最小限にして下さい。
- キャリブレーター1～3*は、使用後はただちに2～8℃に戻すか、必要量のみを分注して使用して下さい。

3) 廃棄上の注意

- 不要な検体、ヒト由来の試薬、測定済み試薬、廃液および汚染されたチップ等は、感染の危険性があるものとして適切な滅菌処理を行った後、廃棄して下さい。〔例：殺菌剤処理（次亜塩素酸ナトリウム液（有効塩素濃度1,000ppm以上）または2%グルタルアルデヒド液、1時間以上浸漬）またはオートクレーブ滅菌処理（121℃、20分以上）〕

- ・構成試薬（発光試薬A*）は、アジ化ナトリウム（0.01%）及び四ホウ酸ナトリウム（14%）を含み、構成試薬（発光試薬B*）は、アジ化ナトリウム（0.005%）を含みます。アジ化ナトリウムは金属アジ化物を形成するので、廃棄に際しては十分な水で洗い流して下さい。

【貯蔵方法・有効期間】

1) 貯蔵方法

凍結及び直射日光を避け、2～8℃で保存して下さい。

2) 有効期間

キットの有効期間：6ヵ月（26週）

構成試薬毎の貯蔵方法及び有効期間は以下の通りです。

構成試薬	貯蔵方法	有効期間
試薬バック		
(1) リガンドウェル	2～8℃	1年8ヵ月
(2) コンジュゲート	2～8℃	1年8ヵ月
(3) アッセイ試薬	2～8℃	1年8ヵ月
ビトロス発光試薬A, B		
(4) 発光試薬A	2～8℃	6ヵ月
(5) 発光試薬B	2～8℃	6ヵ月

使用期限は、製品に表示しております。

【包装単位】

製品コード	製品名	包装
056413	ビトロス CA15-3試薬バック	100テスト

製品コード	製品名	包装
068010	ビトロス発光試薬A, B	各2本（各28mL）

【主要文献】

1. Chittoor SR. & Swaim SM. : Am. Fam. Physician. 44, 453-462, 1991.
2. Patterson AGH. et al. : Lancet. 2, 312, 1980.
3. Fey MF. et al. : Cancer Clin. Trials. 4, 237-247, 1981.
4. Summers, M. et al. : Clin. Chem. 41, S73, 1995.
5. Calam, RR. : J. Clin. Immunoassay. 11, 86-90, 1988.
6. Levinson, SS. : J. Clin. Immunoassay. 15, 108-115, 1992.
- * 7. Powers, D M et. al. (August 1986) NCCLS document EP7-P "Interference Testing In Clinical Chemistry". Volume 6 Number 13.
- * 8. Clinical and Laboratory Standards Institute (CLSI). Interference Testing in Clinical Chemistry; Approved Guideline, Second Edition. CLSI document EP07-A2. Wayne, PA: CLSI; 2005.
- * 9. Livaniou E, et.al.: Serum biotin levels in patients undergoing chronic hemodialysis. Nephron. 1987; 46(3):331-2.
- * 10. European Commission Scientific Committee on Food: Opinion of the Scientific Committee on Food on the Tolerable Upper Intake Level of Biotin (expressed on 26 September 2001). Rue de la Loi 200, B-1049 Bruxelles/Wetstraat 200, B-1049 Brussels-Belgium.
- * 11. Mock and Mock: Serum concentrations of bisnorbiotin and biotin sulfoxide increase during both acute and chronic biotin supplementation J Lab Clin Med 1997;129:384-8.
- * 12. Marcelo C. Batista: Biotin interference in immunoassays mimicking subclinical Graves' disease and hyperestrogenism: a case series. Clin Chem Lab Med. 2017 May 1;55(6):e99-e103.
- * 13. NCCLS. Evaluation of Precision Performance of Clinical Chemistry Devices-Second Edition; Tentative Guideline. NCCLS document EP5-T2 (ISBN 1-56238-145-8). CLSI, 940 West Valley Road, Suite 1400, Wayne, Pennsylvania 19087, 1992.

**【問い合わせ先】

オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社
 お客様サポートセンター Tel.0120-03-6527
 〒104-0053 東京都中央区晴海二丁目1番40号
 晴海プライムスクエア

**【製造販売元】

オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社
 お客様サポートセンター Tel.0120-03-6527
 〒104-0053 東京都中央区晴海二丁目1番40号
 晴海プライムスクエア